

第 685 回 役員会 議事概要

- 1 日 時 令和 8 年 4 月 8 日 (水) 9 時 30 分～9 時 54 分
- 2 場 所 Zoom 会議
- 3 出席者 構成員 8 名：
染矢学長、川端理事、澤村理事、大鳥理事、小野寺理事、住吉理事、
藤澤理事、塚本理事
陪席者 3 名：
菊地特命理事、末吉特命理事、岡監事 (欠席：赤塚監事)

4 議事概要の確認

第 681 回(令和 8 年 3 月 11 日)、第 682 回(令和 8 年 3 月 23 日)、第 683 回(令和 8 年 3 月 26 日)、第 684 回(令和 8 年 4 月 1 日) の議事概要が確認された。

5 審議事項

(1) 2026 年度「大学等の「復興知」を活用した地域共創人材育成・定着推進事業（「復興知」事業）への申請について

2026 年度「大学等の「復興知」を活用した地域共創人材育成・定着推進事業（「復興知」事業）への申請について、資料 1 に基づき審議が行われ、原案のとおり承認された。

(主な意見及び質疑等)

- ・公募要領では「5 年後に自立して実施する」とされているが、自立性はどのように確保していく考えであるか。
- ・申請書には、事業終了後の展開について記載している。本補助金の採択の有無にかかわらず、これまで継続してきた取組であり、将来的には、南相馬市の補助金、大熊町の協力、その他外部資金の獲得を通じて自律的な運営を目指す考えである。また、福島における拠点については、大阪大学福島拠点内にあるレンタルスペースを活用する方向で検討している。事業終了後の拠点維持については、外部資金を活用し、継続可能となるよう調整していきたい。
- ・これまで 15 年にわたり実施してきた中で、放射線調査等を担う人材が地元で育ってきている状況にあるのか。
- ・放射線関連分野については、地元を知見の深い人材が多数存在しており、一般的な業務については、地元で対応可能な状況である。

6 報告事項

(1) 副理事の任命について

染矢学長から、副理事の任命について、資料2に基づき報告があった。

(主な意見及び質疑等)

- ・なし

(2) 組織の長の任命について

染矢学長から、組織の長の任命について、資料3に基づき報告があった。

(主な意見及び質疑等)

- ・なし

(3) 令和7年度内部統制システムの整備に関する計画の重点事項に係る実施状況について

藤澤理事及び石川総務部長から、令和7年度内部統制システムの整備に関する計画の重点事項に係る実施状況について、資料4に基づき報告があった。

(主な意見及び質疑等)

- ・なし

(4) 医歯学総合病院診療実績（令和8年2月分）について

菊地特命理事から、医歯学総合病院診療実績（令和8年2月分）について、資料5に基づき報告があった。

(主な意見及び質疑等)

- ・令和6年度は、国立大学病院の7割程度が赤字であり、令和7年度についても診療報酬は上がらない一方でコスト増が続くため、状況はさらに厳しくなると見込まれていたが、今回の報告にあるような実績になっている要因としてどのような点が挙げられるか。
- ・赤字を抑えている要因として、収支に適したコスト経営を行っている点が挙げられる。また、今回の報告には各種補正予算などは反映されておらず、それらも加味すると一定程度は持ちこたえていると考えている。

(5) 令和7年度大学改革推進等補助金（大学病院機能強化推進事業）の交付決定について

菊地特命理事から、令和7年度大学改革推進等補助金（大学病院機能強化推進事業）の交付決定について、資料6に基づき報告があった。

(主な意見及び質疑等)

- ・資料6ページに示されているとおり、地域の中核を担う大学病院としての役割や診療体制、教育・研究機能の向上については、非常に高い評価を得ている。また、臨床試験などの取組も評価につながっていると考えられる。

- (6) 令和7年度第2回新潟大学医歯学総合病院医療安全監査委員会報告書について
(7) 「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (J-PEAKS)」における機器等の整備状況について

報告事項の(6)及び(7)については、口頭による説明は省略し、役員において資料7及び資料8を確認した。

(主な意見及び質疑等)

- ・なし